

I 実践

1 研究主題

誰に対しても思いやりの心を持ち、助け合い、粘り強くやり遂げる児童の育成

(1) 主題設定の理由

本校は、「心豊かに健やかで、たくましく行動できる児童を育てるーかしこく・やさしく・たくましくー」を教育目標としている。それを受け、人権教育の視点から、「誰に対しても思いやりの心を持ち、皆と仲良くできる子を育てる」「仲良く助け合い、粘り強くやり遂げる子を育てる」の2点を掲げて取り組んできた。

本校の児童の多くは、活発で素直であり、友達と協力して学校生活を送ることができる。しかし、中には友達のことを傷つけるような言動や行動がみられる。

そこで、学校教育活動全体を通して、一人一人が相手の立場を思いやる心や助け合う心の育成を図り、『自分の大切さ・他の人の大切さをお互いに認めること』ができる児童を育成したいと考える。

(2) 研究内容

- ア 人権意識を高めることのできる環境づくり
- イ 豊かな心を育む体験活動の充実

2 実践内容

(1) 人権意識を高めることのできる環境づくり

ア いじめ ZERO 集会

6月30日(土)に、坂本委員会の児童が中心となり、全校児童でいじめについて考える集会を開いた。まず、楽しい学校生活のために毎月行っているアンケートの結果を全児童で確認し、いじめ ZERO を目指す意欲を高めた。各クラス学級目標といじめをなくす取り組みを発表し合った。ロング昼休みにクラスでレクリエーションをしたり、友達の良いところを見つける活動をしたりと、各クラスで仲良く過ごすために様々な工夫をしていることを学校全体で共有した。その後、「幸せなら手を叩こう」の替え歌に合わせて、簡単な振り付けをして踊ったり、いじめを撲滅するためのゆるキャラである「サッカーもとくん」を紹介したりした。集会後はわたしの行動宣言を書き、各教室に掲示した。



委員の考えた替え歌を歌って踊る全校集会



サッカーもとくん

イ 人権週間の設定

9月4日～9月11日までを人権週間とし、人権啓発活動の一環として、人権教育に関するDVDを視聴し、人権メッセージを作成した。作成した人権メッセージは人権啓発推進センター主催の「人権についてかんがえてみませんかーあなたの思い・わたしの思いー」に代表作品を応募した。

(2) 豊かな心を育む体験活動の充実

ア 福祉体験

4年生は総合的な学習の時間に福祉をテーマにした学習を行っている。今年度も10月12日(金)は日立市社会福祉協議会の協力を得て、福祉体験を行った。車いす体験、高齢者疑似体験、盲人体験を通して、からだの不自由な人の生活の様子を学んだり、理解を深めたりし、思いやりの心を育てるとともに、誰もが住みやすいまちづくりにするにはどうすればよいかについて考えることができた。



盲人体験

イ 地域高齢者との交流

10月18日(木)に4年生の児童が、地域の高齢者とふれあったり、会食をしたりする「ふれあいサロン」(坂下地区地域福祉局との共催)を実施した。坂本地区に住む一人暮らしの高齢者の方々を招いて、ダンスや歌、じゃんけんゲーム、似顔絵リレー、会食など楽しい時間を共にした。高齢者の方々に真心をもって接したり、手を差し伸べたりすることの大切さを身をもって体験することができた。

3 成果

- ・「いじめZERO集会」や「人権メッセージの作成」の取り組みを通して、友達と仲良く過ごすためには、相手の立場に立って考えることや思いやりの心をもって接することなどが大切であることに気付くことができた。児童一人一人が人権問題について真剣に考えたことで、人権問題に対する意識の高まりにつながった。
- ・学校や地域で行う行事や地域の方々との体験を通して、相手を思いやる気持ちが育ってきている。また、友達との関わりの中で、学習・生活全般を通して、友達を思って行動したり、友達に気遣ってもらうことで、友達のよさを発見したり、自己肯定感の高まりが見られたりなど、児童同士の関わりの中で、豊かな心が育ってきた。

II 今後の課題

人権教育を行うにあたって、教員自身も人権教の意識の向上が必要だと考える。そのために校内研修を行ったり、人権教育の意識の醸成に努めたりしていく。さらには、保護者への啓発も図り、学校と家庭が連携、協力しながら人権教育活動の幅を広げていきたい。

III 人権コーナーの設置の様子



人権コーナー



人権メッセージ